

## 令和5年度 福岡市自殺対策協議会議事録

開催日時： 令和5年8月8日（火） 14:00～15:30

開催場所： あいれふ7階 第2研修室

出席者： 出席委員 23名（代理出席2名） 欠席委員 4名 事務局 10名

傍聴： なし

会議次第および議事要旨

### 1 開会

### 2 所長挨拶

### 3 委員等紹介

### 4 会長および副会長の選出について

会長は、福岡県立大学人間社会部教授の小嶋秀幹委員、副会長は、福岡市薬剤師会常務理事の清水敦委員が選出された。

### 5 議事

#### 議題1 福岡市の自殺統計について

「人口動態統計」および「警察統計」から、自殺者数の推移等を報告。

#### 【質疑】

（委員）令和2、3年と女性の20代の自殺者が多かったが、令和4年は11人に減って30代が急激に増えているのはどのような理由か？

（事務局）年によって年齢変動はあっているが、細かい理由は、把握はできていない。

（委員）令和3年の50代女性の自殺者数はとびぬけて高い、何が原因だったのかももう少し調べてみる必要がある。

（事務局）確認する。

#### 議題2 福岡市自殺対策総合計画について

令和5年6月に策定された「福岡市自殺対策総合計画」概要版を用いて説明

#### 【質疑】

（委員）福岡市として、（自殺対策に寄与するような）団体は把握されていないのか？

（事務局）把握が難しいため、委員の皆様から関係のある団体から計画について周知していただき連携をとっていただけたいと思っている。

#### 議題3 福岡市自殺対策総合計画の取組みについて

自殺対策推進センター 令和4年度事業報告及び令和5年度事業計画

#### ・重点施策

- ① 様々な分野におけるゲートキーパーの養成と支援
- ② 自殺未遂者支援、自死遺族支援体制の強化
- ③ 若年層、児童・生徒への自殺予防に資する教育の推進
- ④ 女性特有の視点を踏まえた自殺対策

・重点施策以外（相談事業、人材育成事業、普及啓発事業、うつ病対策事業、関係機関との連携）

・各関係機関、団体等の令和4年度事業報告及び令和5年度事業計画

福岡大学医学部精神医学教室、福岡県弁護士会、福岡産業保健総合支援センター、福岡市教育委員会より、報告。

#### 【質疑応答】

(委員) 相談員の確保が一番難しいところだが、どうやっているのか？

(事務局) 公募はせず、精神保健福祉士協会、臨床心理士会などに相談して探している。

(委員) 自殺死亡率 R3年度は 17.1。R8年度までに 13.0以下。今までに 13.0以下になったことはあるのか、政令市での比較はどうか？

(事務局) 自殺死亡率が 13.0以下に至ったことはないが、目指していくことを掲げている。政令市の比較については、自殺対策総合計画 7 ページにあり、福岡市は全政令市中、高いほうから 3 番目である。

(委員) ゲートキーパー養成の数値目標について、具体的にどういうところに養成講座の開催を働きかけているのか？

(事務局) 市の出前講座で案内。大学生や民生委員などぜひ受講していただきたい。

(委員) ゲートキーパーの数値目標について。フィンランドは 1980 年代にゲートキーパーを 5 万人にする計画があった。公務員や軍隊などを対象に養成されており、ゲートキーパーの数が増えている。5 年間で 1 万人は妥当な数値目標と考える。

これまでの自殺者数の減少は、中高年に焦点を当てていた対策が有効だったこともあるのではないかと、女性の自殺者数の増加は、対策が追い付いてなくて増えているのではないかと思う。

(委員) そうすると、今後は、若者とか女性の対策を増やす必要がある。

(委員) これまで焦点化されていなかった女性や子どもにやっていくことで効率よくできるのではないかと考える。

(委員) 福岡市の重点施策、実施していただきたい。

(委員) 各団体の事業を共有、発信していくことが大事

## 6 閉会